令和3年度　宮城県仙台東高等学校　学校評価書

学　校　経　営　方　針

1. 魅力と活力のある学校づくり

(1)教職員と生徒相互の信頼関係を確に，生徒が本校の特色ある諸活動に主体的に取り組み，自己を確認して一人ひとりの自主性・自律性を高めさせることで逞しい成長に導く。

(2)生徒がグローバルマインドを持ち，自分と社会との関わりを捉えることで進路目標の達成に向けた強い意志を持つとともに，きめ細やかな指導を徹底して進路希望の実現を支援する。

(3)生徒が読解力を身につけるとともに論理的思考を意識することにより，将来に生きる学びの基礎力とし，一層の学力の伸長を導く。

2. 協働の意識が高い学校づくり

(1)学校と家庭が連携し，生徒の自律性の育成と基本的生活習慣及び学習習慣の確立を図る。

(2)学校，家庭，地域の連携による防災・安全教育を推進するとともに，地域への積極的な情報発信により地域とともにある学校として確かな信頼を得る。

(3)教職員の協働を一層推進し，実践を共有して指導法の資産化を図る。

3. 志教育を推進する学校づくり

(1)本県の志教育推進計画に基づき，以下の3点に重きを置いて取り組んでいく。
① 人と「つかわる」
② より良い生き方を「求める」
③ 社会での役割を「はたす」

(2)校内外の様々な資源を活用し，変化の激しい社会環境の中で社会に貢献しようとする意欲を持った逞しい人の育成を目指す。

(1)学ぶ者としての姿勢・態度の確立

① 基本的生活習慣の確立(常にワンランクアップの意識を持つ)
② 積極的な授業態度・姿勢の確立(予習・復習の習慣化と探究の意欲)
③ 家庭学習の定着と学習時間の確保(希望進路を意識した学習への取り組み)
④ 図書館および学習室等の積極的活用

(2)教育に携わる者としての姿勢・態度

① 学力の向上を目指す方策の企画と実施
(教育改革を見据えたアプローチ)
② 学校目標を見据えた指導の工夫・改善
(国際理解・授業評価の活用を改善のPDCA)
③ 物事への意欲を高めさせる積極的体験の機会の提供
④ コンプライアンス意識の徹底と効率的な時間の活用

(3)生徒の希望する進路の達成

① 「みやぎ志教育」の推進
② 高い目標の継続と実現に向けた取り組み
③ 総合的な学習(探究)の時間及び「ホームルーム活動」の充実
④ 課外授業等への積極的な取り組みと模擬試験への丁寧な対応

教育目標	進展する国際化社会の中で，広い視野と高い識見を持ち，心身ともに健康で積極的に自己実現を図り，将来国家・社会並びに世界のために貢献できる人間を育成する。		
校　　訓	進取創造　　自主自律　　誠実協和　　強健不撓		
教育方針	1. 広い視野と柔軟で創造的な考え方と進取の精神を育てる。 2. 自主・自律の態度を伸ばし，公正な判断力と責任感を涵養する。 3. 誠実さを人間関係の基本とし，相手の立場に立って理解しようとする態度を培い，協調と奉仕の心を育てる。 4. 強健な身体と不撓不屈の意志を持って勤勉に努力する態度を育てる。	目指す学校像	生徒の学ぶ者としての姿勢・態度がしっかりしている学校 英語教育と国際交流・国際理解教育に力を入れている学校 生徒が明るく生き生きと生活している学校 生徒の希望する進路を実現する学校 開かれた学校づくりを推進している学校

EAST　PLAN　12　（今年度の具体的数値目標）

e-メッセージ（生徒・保護者・職員）の100%登録。【総務】	海外研修プログラム参加者20名以上【国際】
教員が実施する授業理解度評価の100%実施。【教務】	英語科クラス在籍中に準2級以上が20名、2級以上が10名、準1級が2名以上をめざしたい。
課外講習の参加者150名以上（1・2年）， 国公立大学現役合格者30名。【進路】	①出席率95%以上②模試平均偏差値50以上③学校生活満足度80%【1学年】
①交通事故発生件数-20%②生徒による学校行事満足度（充実度）80%以上【生徒指導】	①出席率95%以上②模試平均偏差値50以上③学校生活満足度80%【2学年】
図書館の利用促進を図り，全生徒が各自，年間3冊以上の読書を目標とする。【図書】	①進路達成率95%以上 ②学校生活満足度80%【3学年】
各種検診の再検率の向上を図る【保健厚生】	電気代・水道代の縮減（前年比）に努める。【事務】

今年度重点目標達成のための取組					学校関係者評価
評価分野	目標（評価）項目	目標達成のための具体的方策や方向性	達成度（自己評価）	改善の方策や方向性	学校関係者からの意見・質疑・評価等
(1)学習指導	学ぶ意欲を引き出し，学力を身に付けられるような授業実践	①年2回の校内授業研究月間の実施と，授業力向上支援事業・授業改善研修会・授業構成立講座の活用，②生徒による授業理解度評価を通切な時期に実施し，教科会で情報を共有し活用，③連携教，課題テスト，考査対策週間，成績上位者・下位者への指導，日常の予習・復習と連動した授業の実施，④ICT機器の活用に関する情報提供及び研修会の実施，(1)～④(教務)⑤学習習慣の定着指導(生活デザインシートの活用・朝学習・課題・小テストなど)(2)1学年)⑥学習習慣の定着指導(朝読書学習，課題，考査対策週間)⑦ワンランクアップゼミによる上位者の成績向上，(3)②②学年)⑧アップ学習会やスタディサプリを使った希望者対象の成績向上⑨部活引退後の受験勉強への切り替え支援(課外講習や進路合宿を中心に)⑩定期的な面談の実施による希望や適性の明確化(③，⑧～⑩3学年)	C (S)	【方向性】生徒の実態を把握し，興味・関心を惹かせる授業づくりや，アクティブラーニングを積極的に取り入れ，教科でテーマを設けた研究授業に継続して取り組む，ICT機器の整備が進んだことにより，今後は，非常時に授業提供ができるように，講義動画などにも取り組む。 【方策】様々な学力を身に付けさせるための指導について，各学年や教科を中心に，課題やハイテスト，朝学習，成績上位者や下位者を対象とした学習会や補習など，様々な工夫を凝らした実践を継続する。ICT機器の活用に関する情報提供及び研修会を引き続き実施し，新しい授業づくりに取り組む。	生徒の65.7%が肯定的評価をしている。この数値は決して悪くない数値ではあるが，昨年度の県平均(63.3%)と比較すると低く，ここが60%台が続いている。教員の自己評価(90.7%)とも乖離があり，最も改善が望まれる項目である。
(2)生徒指導	基本的生活習慣の確立	①遅刻回数による段階的な指導(家庭との密接な連絡，早期個別面談指導)，②容儀指導の徹底，③部活動・委員会主導による積極的な挨拶運動，④継続的な声かけと，教員による共通理解の下の指導，⑤生徒主体の活発な部活動を行うための定期的な指導(顧問会)，⑥学校行事，委員会活動の活性化を図る取組，⑦家庭や学校以外の人との触し方を身につける，⑧交通安全講習会や継続的な通学マナーアップ指導による交通安全指導，⑨全校集会による学校生活全般についての一斉注意喚起，(1)～⑨(生徒指導)⑩挨拶，服装，身だしなみ，自転車マナーの日常的な指導以降案や集会などでの時間設行動，(⑩②1学年)⑪登校指導(自転車マナー，遅刻防止，頭髪・服装指導)，⑫遅刻，早退の増加傾向の生徒に対する早期個別面談指導，⑬挨拶，服装，身だしなみの日常的な指導⑭部活動，学校行事，委員会活動の励行，(⑫～⑭②2学年)⑮登校指導(挨拶，遅刻防止，頭髪・服装指導)，⑯部活動，学校行事，委員会活動の励行，(⑮②3学年)	A (A)	【方向性】先生方の多方面からの継続的な指導が効果を見せている(頭髪，服装，遅刻，挨拶など)ところ。より積極的に段階的な指導を実施する。(担任指導→学年主任指導部指導→学年主任指導→生徒指導)マナーアップについては，生徒一人ひとりが，自転車マナーの日常的な交通マナーについては，生徒の更なる意識の向上を図る。 【方策】新入生オリエンテーションにおける初期指導の充実を図る。また，通学マナーアップ指導，交通安全教室の充実をしていた図るとともに，規定・心得の確認と周知を徹底する。	基本的生活習慣の指導について効果が出ているとの報告があった。先生方の努力が実を結んでさてるものと思う。自転車のマナーアップについては，生徒の命に関わることなので，継続して指導に当たって欲しい。
(3)進路指導	進路目標の明確化に向けた適切な指導	①3年間を通じた体系的な進路指導(志教育，キャリア教育，各種ガイダンスなど)を適切な時期に行うことにより，生徒の進路目標の達成を目指す，②模擬試験の有効活用(事前指導を通した意識付け・結果分析)，課外講習の充実化(1・2年生の課外講習参加者増加，3年生に対する課外講習の時間確保)により，生徒の進路目標達成に必要な学力の向上を図る。③総合的な探究の時間などで論理的思考力を育成し探究活動を拡充し，情報収集力，情報分析力や課題発見・課題解決力，新たな価値を創造していく力を身につけさせ，自己の生き方を考えさせる，④新教育課程に関する説明会等に参加して継続的に情報を収集し，教員間で情報を共有を図るとともに，新入試制度に関する対応策を実践していく。⑤学習状況調査や面談を通して生徒の進路意識を把握し，個々の生徒に応じて適切な情報の提供やアドバイスを行う。(1)～⑤進路指導部)⑥2年時の科目選択を実施するにあたり，系統的な指導を行い，生徒の進路意識の醸成を図る。⑦オープンキャンパス，夢ナビライブ(web)に参加させるとって，大学で学ぶ内容を明確にするとともに，様々な職業分野に関する講演を通して，幅広い職業観を高める。⑧進路シラバス，各種進路ガイダンスの有効活用。(⑥～⑧1学年)⑨オープンキャンパス，夢ナビライブへの参加，地域における問題発見学習の実施，⑩三者面談，三者面談の実施による生徒個々の進路目標把握と適切なアドバイス。(⑨②2学年)⑪志望進路先からのオープンキャンパス，大学等説明会への参加に関心分野に対する問題意識の醸成，⑫進路シラバス，各種進路ガイダンスの有効活用，⑬AO推薦入試対策のための志望理由書作成指導，面接指導(⑪～⑬3学年)	A (S)	【方向性】3年間を通した体系的な進路指導を実施するため，進路資料の活用(進路の手引きや進路シラバスなど)や各種ガイダンスなどをさらに充実させ，時期に応じて生徒の意欲を喚起させるような指導を検討する。総合的な探究の時間については，各学年の様とな探究活動を中心に計画的に内容をさらに充実させながら実施する。 【方策】ICT機器を活用した各種講話の実施を充実させる。また，キャリアセミナーについては今後も，「企業人講話」を中心に検討を進める。総合的な探究の時間については，総探検対象員会を中心に内容や実施時期なども含め常に検討する。	大学の新入試制度に対応するため，総合型・学校推薦型入試の面接指導を，各教科に学習ごと割り当てをするなど，進路指導体制の改善に取り組んでいるとの報告があった。今後も生徒の希望進路達成に向けて，意欲的に指導に当たって欲しい。
(4)教育相談	教員やカウンセラーの必要な時に相談に応じる体制	①カウンセリング利用が定着しつつあるが，「カウンセラー便り」「HP」等を通じ，更なる利用を呼びかける。②カウンセリング委員会・教育相談委員会の運携を図り，更に様々な相談に対応できるように各学年に担当者を配置しスムーズに「ケース会議」等を開催する体制を整える。③保健便り，PTA総会資料等を通じ，教育相談について，保護者への周知徹底を図る。(1)～③保健厚生部)④保健便り，eメッセージを活用し，カウンセリングについての理解を深める。(④②学年)	B (S)	【方向性】生徒への周知を図り，気軽に利用できる工夫や改善を検討する。 【方策】メール配信を増やすことにより成果があったことから，今後も継続する。	様々な媒体を用いて，情報発信に努めており，着実に効果を上げているようにとであった。生徒が抱える心の相談に，これからも丁寧に向き合って指導をして欲しい。
(5)部活動	部活動に対する活発な取組	①新入生の部活動会員加入と生徒会執行部のバックアップ体制の強化，②部長会主導による規律ある活動の徹底，③部活動施設・設備等の調査及び整備充実のサポート，④部活動の積極的参加を呼びかける，⑤各種大会結果等について保護者へPTA会報やHPを通して通知する取組，(1)～⑤(生徒指導部)⑥(1・2学年)⑦部活動を最後までやり抜く指導(③②3学年)	A (A)	【方向性】部活動に積極的に取り組む生徒は，学習に対しても高い意識と継続性を発揮できる傾向にある。入部した部を三年間続けさせるように働きかけ，生徒主体の行事への取り組みとさせる。 【方策】部長会・執行部主導による活動の活性化を図る。	コロナ禍により，様々な制限があり，とりすぎを後の意欲が低下してしまいがちな状況の中で，生徒方が粘り強く指導や協主し，声かけ等が，生徒のモチベーション維持につながっていると思う。
(6)学校行事	有意義な学校行事の取組	①安全な海外研修プログラムの実施(①国際部)②生徒会，委員会の活性化によりリーダーの育成，(②生徒指導)③クラスでの役割を果たしながら，行事に積極的に取り組むことで，家高生としての担りを持てるようにする。(③1学年)④学校内外の行事に積極的に取り組み，一体感を体験することで，家高生としての自覚と誇りが持てる指導を行う。(④②学年)⑤行事の目的を理解させ一体感を体験することで活気ある生活をつくり，進路目標達成の原動力とする(⑤③学年)	A (S)	【方向性】海外渡航については，コロナ禍が終息した後を見据え，検討・準備を進めていく。 【方策】コロナ禍ではオンラインによる実施が主かなことから，生徒に伝えるオンラインの魅力を再研究会や業者等と模索していく。リーダー育成を図り，生徒が主体的に行事へ取り組むことで，より高い充実感が得られるよう指導方法を工夫する。	昨年度に比して，大きな改善とは実証困難と思う。コロナ禍の制限のあるなかで，工夫されて可能な範囲で行事を開催されたことやその努力が評価されたものと思う。
(7)特色ある学校	地域や伝統，目指す学校像などに基づいた特色ある学校づくり	①1学年での，SDGsを柱とした総合的な探究の時間の充実，②グローバルウィークの内容の充実と異文化理解の態度の育成(①②(国際部)③英語科講演会，英語科合宿の充実，④スピーチ・英作文等の各種コンテストの奨励(③④英語科)	A (S)	【方向性】SDGsにフォーカスをつてた各種行事を継続して開催していく。 【方策】より深く「アクションプラン」を考えるようができるように検討する。外国人や異文化に触れ理解を深め，感受性を豊かなものに育む取組を継続する。	昨年度に引き続き，オンラインによる国際交流を積極的に行っており，生徒の意欲・関心を大いにふき立てているのは実感らしい。これからも，生徒が主体的に情報を提供していこうができるような指導を期待したい。
(8)防災教育	災害・非常時の避難方法や連絡方法の徹底	①生徒の防災意識向上につながる防災訓練の実施と防災マニュアルの精査を行う。②e-メッセージの登録率の向上と，運用方法の改善を図る。③各種訓練や研修会を行い，命を守ることの大切さを徹底する。④危機管理マニュアルの周知徹底により危機の未然防止に取り組む。⑤体育館でおれる式典等の進行事において，避難経路，避難方法を計画する。(①～⑤総務部)⑥各種防災訓練に取り組ませることで，命の大切さの指導を徹底する。(⑥全学年)	A (S)	【方向性】避難訓練を含めた防災教育と，感染症対策の両立を図りながら適切な方策を検討する。eメッセージでの情報発信の重要性を認識してもらい，防災意識の向上を図る。避難訓練の方法を工夫・改善を行い，そのときの状況で最大限の安全確保ができるようにする。 【方策】eメッセージの確実な登録の呼びかけを引き続き行う。危機管理マニュアルの点検を継続する。式典・諸行事において，災害時の避難方法・経路の周知を徹続する。	eメッセージによる情報発信の有効性については，生徒・保護者ともに概ね好意的に受け止めている。これからも，早意味，整備時間わず，学校からの正確で迅速な情報発信に努めて欲しい。
(9)開かれた学校	学校情報の適切な発信	①学校ホームページの更新，②PTA会報「しおさい」の紙面の充実，③仙台東高校カレンダーの充実，④ホームページ，会報以外の情報発信の可能性を探る。(①～④総務部)⑤地域の小学校や市民センター(部活動)との連携を行う。⑥オープンキャンパス時の英語科総合性の充実を図る。(⑤～⑥英語科)⑦学年便りを定期的に発行し，保護者への情報発信に努める。(⑦全学年)	S (A)	【方向性】自然災害やコロナ感染対策等により，eメッセージや学校ホームページを活用する場面が増えていくことから，より効果的な使用方法を検討する。 【方策】新年度に，より多くの生徒・保護者にeメッセージに登録していただけるように，しっかりと案内や呼びかけを行う。	学校からの情報発信については，書面，eメッセージ，学校ホームページ等，複数の媒体をうまく組み合わせることで，より効果的な活用方法に努めて欲しい。
(10)PTA活動	PTA活動に対する学校と保護者との連携	①PTA総会，学年研修会，キャンパス見学会，東風祭など，PTA役員，役員以外の保護者と学校との協力体制を強化する機会を，現状をふまえより良いあり方を検討していく。②PTA会報，ホームページ，e-メッセージによる情報発信を，適時，行う。③学校・保護者が協力して御開指導を行うことで，生徒通学時の安全意識の向上を図る。(①～③総務部)	B (S)	【方向性】コロナ禍での諸行事の在り方を検討する。 【方策】eメッセージや学校ホームページを活用して，保護者に情報が適切に伝わるように改善を行う。	PTA役員全で，女子用スラックスの一種の意見が出されたところ。学校として迅速に対応し，年度内の導入に至ったと報告があった。学校側の柔軟で適切な姿勢に共感を覚える。
(11)施設設備	施設・設備の整備に対する取組	①定期的に校舎内外の点検を行い，危険箇所及び破損箇所の早期発見に努めるとともに，速やかに安全対策等を講じ，事故防止に努める。②大規模修繕等については，生徒・保護者・教職員の要望を検証し，教育行施設整備課との調整により，計画的に推進する。	B (A)	【方向性】事故防止に努め，修繕が必要な箇所については，県教育庁担当課と緊時連絡を取りながら必要な予算を確保し，速やかに対応していく。 【方策】定期的に校舎内外の点検を引き続き行う。職員全員が2名ずつ組で校舎内外の安全点検を定期的に，また随時実施する。	生徒用アンケートでは，昨年度より肯定評価が落ちているのが気になる。保護者用アンケートの自由記述には，トイレについての指摘が複数あった。トイレはもっと強く指心を持つべき場所と考える。
(12)いじめ問題	いじめ問題の早期発見・取組方針の保護者との共有	①定期的な「いじめアンケート」の実施と追跡調査，②全ての教員による「あらゆる場面」での観察と日頃からの声かけ指導，③いじめは絶対に許さないという厳然たた指導をさまざまな場面で取り組む，④分掌内や各学年との恒常的な連携と対応，⑤教育相談委員会の取組の徹底，⑥スクールカウンセラーの積極的な活用促進，⑦「学校いじめ防止基本方針」の共通認識を図り，全職員でいじめ防止に取り組む意識の徹底を図る。⑧情報モラル教育をLHR等を活用して行う。(①～⑧生徒指導部)⑨常日頃からの観察と声かけ，⑩三者面談・三者面談による情報収集と保護者への連絡徹底，⑪常日頃からの観察と声かけ，(⑨⑪2学年)⑫三者面談・三者面談による情報の収集と保護者への連絡徹底，⑬常日頃からの観察と声かけ，(⑫⑬3学年)	B (S)	【方向性】学校いじめ防止基本方針により，保護者，教職員ともに共通認識を図り，早期発見，早期対応に継続して取り組む。 【方策】定期的なアンケート調査の実施とともに，日常生活において全教職員での観察及び情報交換を行う。また，三者面談の実施により生徒の変化を見逃さない対応を心がける。	トイレ清掃の全(日本全美しくする会)で，小・中・高のトイレ清掃を行っている。トイレ清掃を継続していく学校では，学習効果が向上したり，交通事故，いじめが減少した実例が報告されている。ぜひ参考にして欲しい。
(13)保健指導	自主的に健康管理ができる指導	①全ての生活の基盤は，心身の健康保持・増進にあることを自覚させ，規則正しい食生活と十分な睡眠の確保を呼びかける。②授業，保健便り，クラスの健康観察等を通じ，自主的に健康管理や正しい行動選択と実践ができるよう指導する。③保護者の協力を得ながら生徒が休まず登校できるように指導する。(①～③保健厚生部)④基本的生活習慣の定着指導。(④全学年)	A (A)	【方向性】「身体的」自己の健康管理。「心の健康」については，保健室としてのサポートを今後も継続する。 【方策】「身体的」自己の管理については，現状の支援体制を継続する。「心の健康」に関しては，維持していくことが難しい生徒が多く，今後とも保健だより等で様々な情報提供を行い，生徒が自身で「心の健康」を管理，思考できるようサポートをしていく。	日々，新型コロナウイルス感染予防への取組で苦労していることが思う。大変だと思うが，基本的な感染予防対策の徹底や指導を粘り強く指導して欲しい。先生方も健康にはよく気をつけて欲しい。
(14)読書指導	生徒の読書活動をサポートする取組	①図書館の積極的利用を図り，年間貸出冊数3,000冊を目指す（R2 1,771冊/R1 2,317冊）。②年4回「朝読書」期間を設定し，読書に取り組むきっかけをつくり，主体的に読書をする生徒を増やす。③新入生対象の「図書館利用オリエンテーション」を実施し，活用案内を配付することにより，図書館が身近なものとなるようにする。④「年間多読賞」を継続し，読書への興味・関心を高める。⑤大学の小論文に参考になるような新書などを紹介するなど，進路目標達成につながるような読書を促す。⑥図書科をはじめ各教科と連携して長文に慣れ，読解力を養成する。(①～⑥図書部)⑦英語多読教材を整備し，活用する。(⑦英語科)⑧朝読書期間を活用し，毎日の読書を推進する。(⑧1学年)⑨朝読書週間及び読書祭を利用を促し，読書活動を推進する。(⑨②学年)⑩総合学習関連図書の購入(⑩②学年)⑪Eライブラリーによる各クラスへの書籍配置を実施，読書活動を推進する。	A (B)	【方向性】図書館の積極的利用を図るとともに，要望に応じた教材や参考資料等の整備に努める。 【方策】Eライブラリーによる各クラスへの書籍配置を継続して実施するとともに，読書活動を次年度以降も推進する。	朝読書はとても良い取組である思う。継続し欲しい。併せて，その効果の検証もして欲しい。
(15)総合満足度	充実した学校生活のための取組	①入学式，卒業式など生徒・保護者にとってかけがえのない行事をやり上げる事の準備に対して配慮を怠らない，②「学校防災計画」に示した想定外時対応の検証を常に行う。(①②総務部)③個人面談の充実により，目的意識を調整し，充実した高校生活となるよう支援する。④文武両道の推進，⑤学校行事などへの積極的な取組を指導する。(③④⑤12学年)⑥学習を生活の活力に，生活を学習の活力にするための健全な高校生活の支援。(⑥3学年)	A (B)	【方向性】学校行事の在方など効果的な運営等について常に検討を行い，生徒にとってよりよいものとなるように工夫していく。 【方策】感染防止の観点から校内行事を校内放送で行う場合でも，生徒の意識付けのため，しっかりと実施する。「学校防災計画」については，継続的に検証する。	自由記述の部分で厳しい意見も見受けられたが，学校に自由な意見を言える環境にあるらしいことは，学校側は，では改善部分が見える化され，より良い学校運営に生かせるものと考えられる。今後に期待したい。
			達成度：保護者と生徒の学校評価の適合度を示唆したものです。 自己評価：教職員の自己点検・自己評価の適合度によるものです。		

保護者・生徒の学校評価及び教職員の自己評価アンケートによる結果
S（1　よくあてはまる＋2　だいたいあてはまるが90%以上）　A（1　よくあてはまる＋2　だいたいあてはまるが80～90%未満）　B（1　よくあてはまる＋2　だいたいあてはまるが70～80%未満）　C（1　よくあてはまる＋2　だいたいあてはまるが60～70%未満）　D（1　よくあてはまる＋2　だいたいあてはまるが60%未満）